

## 定められている裁き

へブライ人への手紙九章16〜28節

そして、人間には、ただ一度死ぬことと、その後裁きを受け  
ることが定まっているように……。 (27)

全ての人間に定められていること、それはやがて死ぬという事実です。死だけは、どんな人も免れることは出来ません。これは誰もが知っている事実ですが、大切なのは、死の後に神による裁きが定められているという厳粛な事実です。この事実に対しては、世の多くの人々は心の目と耳をふさぎ、死後の裁きなどないかのように生きています。しかし、どんな人もこの真理を土台として、地上の生き方を方向づけなければなりません。死後の裁きに備えて生きることこそ、私たちに最も大切なことです。死後の裁きに備えた正しい生き方とは、私たちの罪のために犠牲となられた主イエス・キリストを「私の救い主」と信じて生きることです。死後の裁きが定められていることを知っている私たちは、人生の焦点をしつかりとそこに当てつつ、与えられている日々を歩みたいと願います。